

事業所名		児童デイサービス・アニマート名護うむさの森		公表日		令和7年 3月 6日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	3	学習時と活動時はスペースを分けて使うようにしています。	活動時の身体を動かす場合は、公園や事業所裏のスペースで活動を行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	2	下校時間が重なった場合は、職員との連携を取りながら状況判断を行い、少しでも早く迎えられようとしています。	適切な人員配置は行っているが、送迎時の場合職員が少なくなる為、見守りの目を増やすためにも効率よく各学校を回れるよう工夫をしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	0	4	・入り口前の斜面はスロープになっています・段差をなくしたり、整理整頓を行いながら、スペースを設けて行けるよう工夫をしています	引き続き整理整頓を行い環境を整えていくようにします。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	空気清浄機を設置、消毒もこまめに行っています。・子供たちのスペースに活動に合わせてスペース調整を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	2	クールダウンをしたり、落ち着かせる場合は相談室を開放しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	業務を行う上で、気になるような事があった場合はその都度話し合いを行い、改善するようにしている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2	アンケートの結果を職員で話し合い結果を共有している	保護者の方の意見やニーズを把握し改善していくようにする。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	業務を行う上で、気になるような事があった場合はその都度話し合いを行い、改善するようにしている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		グループ法人で第三者委員会が設置されています	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	外部研修、内部研修を行っている。	内部研修は月1回、外部研修は年に2回法人グループの研修があり、それ以外の研修も参加をしている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	ネット上公表をしています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	年に1回のアセスメント年2回のモニタリング、保護者面談を設けています。	職員や保護者の意見を集めて、本人の課題に合わせた支援方法、計画を検討して行きます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	子供達の日々の様子を職員間で共有し、課題に応じた支援方法を検討しています		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	支援計画に基づいた支援ポイントを日々の支援の中で確認、共有できるように工夫をしています。	もっと個別支援計画書を充実していきたい。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2		標準化されたアセスメントツールは使用していませんが、アセスメントシートで活用して職員間での話し合いを行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	2	五領域を踏まえて、児童と家族が明るい将来の見通しができるように支援をしています。	ライフスタイルの変化に備え移行時期には、関係機関との連携を図るようにしています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	職員間で話し合いをしています。	様々な日課を通して支援が出来るように職員全員で検討し利用者様の意見も取り入れながら立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	・季節の行事を取り入れていれています。 ・利用者が興味を持てるよう工夫をして作成をしています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0		定期的に状況確認や課題、支援方法等を職員間で話し合い個別と集団活動の取り組みを検討しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	朝のミーティングの時に話し合いを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	朝夕のミーティングでの情報共有、振り返りを必ず行っています。	朝夕は職員全員で必要事項の確認をしたり、療育開始前後には、療育内容の確認と反省の時間を設けるようにしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	個別の支援記録とは別に、記録をしています。	個別ごとにその日の内容や状況等を、支援内容や連絡帳へと記録、保管を行い今後の支援改善へとつなげていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	定期的にモニタリングを実地しています。	保護者にニーズの聞き取りを行い、計画の見直しの判断と見直しを実行しています。又定期的なモニタリング以外でも計画の見直しがある場合は随時モニタリングの機会を授けています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	0	バランスよく組み合わせ、子供たちの多面的に成長を支援しています。	地域交流が足りていない。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	1	自己決定が苦手な児童には、選択肢から自分で選ぶことをから始めてもらっています。	自分で決める機会を支援の中に散りばめ、自分で決めた事を振り返る機会を設けています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	児童発達管理責任者が参画しています。	会議の内容を全スタッフに報告をすることで共有しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	何かある時には対応しやすいように、日頃から関係機関とのやり取りや情報共有を心掛けています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	ご家族・学校と情報共有に努めています。行事等は積極的に参加をしています（運動会・バザー・他）	行事や送迎時間などについては、担任から書面をいただいたり、保護者とは電話、メールなどでのやり取りをこまめに行い把握をするようにしています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0	情報共有を行っている。	連携を取り情報共有を行い、支援へ繋げられるようにしていくようにします。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0	対象者がいらした場合は、これまでの支援内容等に、情報提供を行っています。	積極的に意見交換や情報交換などを行うようにします。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	4		必要に応じて参加をします。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	0		定期的な交流はありませんが、地域の公園などで地域児童と一緒に活動する機会を得ています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2		必要に応じて参加をしています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	送迎時の際に申し送り、又連絡帳を介して情報を共有をしています。	保護者と会えなかった場合は、電話、メールにて連絡を取り合うようにしています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	電話やメール送迎時などで情報共有を行い、気軽に相談ができる環境作りを心がけ信頼関係が築いて行けるよう心掛けています。	
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		契約時保護者に対して重要事項説明書を使い、支援内容、提供時間、利用者負担等について説明を行い質問があれば、その場で答えられるようにしています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	モニタリングを通しての聞き取りや、計画作成にあたり、保護者様の意向の確認を行えるようにしています	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	2	2	対面での説明を心がけ同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		定期的にはモニタリングの際に、療育の悩みをお聞きし相談にのっています。子育ての悩みに関わらず、連絡帳、電話等により相談を受けた時は、他の職員と相談しながら丁寧に対応助言をしています。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	4		3D感染症予防の為今年度は行われていませんが、これからはイベントを通して保護者の交流を深められるようにして行きたいです。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	意見箱を設置しています。	保護者から苦情があった場合には、迅速かつ丁寧に対応をし、今後の改善施策を保護者に電話や訪問をして報告をしています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2	2		定期的に通信発行を今年度は行えていませんが、行事予定などは行っている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		契約時に個人情報同意書に同意を頂き、年に1回は保護者の肖像権同意書を確認しています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	2	子供の特性を把握したうえで配慮をしています。	児童、保護者の方の意思疎通が図りやすい伝達方法で情報伝達を行って行きます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2		ハロウィンや啓発デーの行事参加を通して地域との交流を深めてまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	2	定期的に行っています。	職員間でも勉強会を実施し定期的にマニュアルを読んでいる。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1	地震・火災・水害の避難訓練をマニュアルに従って実施しています。	年に2回児童と一緒に、避難経路、避難場所を確認しながら訓練を行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0	事前に服薬がある場合や疾患の確認と対応をお伺いしています。	情報共有に努めてまいります。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0		アレルギーのある児童には保護者からのヒヤリング、医師の指示書に基づき支援を行っている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1	訓練を行った後は、必ず反省、振り返りを行い、実践に活かせるようにしている。	職員間で話し合いながら、これからも必要な訓練を考え、実施していきたい。その際の振り返り、反省もしっかりと行いたい。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1		ご家族への連携方法は確立しているが、詳しい取組内容の周知が必要です。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	1	ヒヤリハットが発生した場合は、その日のミーティングで共有し、重大事故へ繋がらないよう取組んでいる。	案件があった場合は、原因をさぐり対策を迅速に立てて共有するようにしている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	定期的に研修を行っています。	虐待防止のため適切な支援を行うため、話し合いの場を設けるとともに、虐待防止のマニュアルを職員間で読み合わせなどを行っている。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0		身体拘束を行う利用者はいませんが、必要に応じて児童や保護者に説明をし、了解を得た上で個別支援計画にも記載をしています。	